



シンポジウム 社会学 v.s. 建築 v.s. アート いま「空間の自由」を問う - 社会 / 建築 / アートの交点 -

2006年9月2日(土) 14:30~17:30 せんだいメディアテーク 1F オープンスクエア

目次

1. はじめに
2. シンポジウム要旨
 - 1) 「空間管理」のパラドックス
- 「安全」を囲い込めない住空間 -
 - 2) 空間の実践
 - 3) 「パラドックス (概念)」から
「トレードオフ (現実)」へ
3. パネリスト略歴
4. 学際研究会*1
5. 関連出版企画

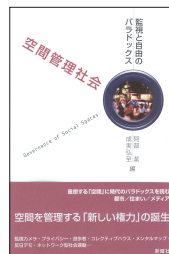
学際研究会*1

本シンポジウムは、関西学院大学 21 世紀 COE プログラム 「『人類の幸福に資する社会調査』の研究」の一環として組織された「監視テクノロジーが市民生活の『幸福』に及ぼす影響に関する研究」のメンバーによる学際的研究プロジェクトが母体となって発展したものである。

研究班メンバー

阿部 潔 (前述)
デイヴィッド・ライアン (クイーン大学教授)
姜 明求 (ソウル大学教授)
小野田 泰明 (前述)
成実 弘至 (前述)
田仲 康博 (国際基督教大学助教授)
佐幸 信介 (前述)
前田 至剛 (関西学院大学 COE RA)

関連出版企画



『空間管理社会——監視と自由のパラドックス』

阿部 潔・成実弘至 編

(2400 円+税)

- | | |
|--------------|----------------------------------------|
| ①都市の自由とまなざし | 公共空間の快適 (阿部潔) ストリートの快楽と権力 (成実弘至) |
| ②住まいのポリティクス | 囲われる空間のパラドックス (佐幸信介) デザインされる空間 (小野田泰明) |
| ③メディアの自由と不自由 | ネット空間と自由の可能性 (前田至剛) 空間と表象の暴力 (田仲康博) |

わたしたちは今、どのような社会を生きているのか？ 本書は「公共の空間／住まう空間／メディア空間」という3つの日常的空間から、現代を照射しようと試みた力作論集である。そこに示されているものは、空間の管理が進むなか、「監視」と「自由」が奇妙な形で共存しているパラドキシカルな現代社会の姿だった。

主催

関西学院大学 21 世紀 COE プログラム
せんだいメディアテーク